

利用条件について【7月10日以降】

1. 利用は**定員の50%以内**
2. 四方の**間隔1m以上確保**
3. **ドア開放**と換気扇運転
4. **大声**での会話等は控える
5. 利用後の**備品等の消毒**
6. 一部備品の貸出し中止
7. **飲食禁止**（水分補給は可）

【ホール利用】 上記条件に加え、

- ①出演者同士の密集や対面を避ける
- ②舞台正面席は十分間隔を開ける
- ③客席は四方に十分な間隔を開ける
- ④利用中のドア開放（少なくとも休憩時）
- ⑤客席同士の大声での会話、声援は控える

※演奏会、コーラス、詩吟、ダンス等は上記条件で利用可。マイク使用のカラオケ等は当面禁止

施設利用制限に係る取り扱いの変更について【7月10日以降】

種別	以下の条件を満たしたうえで利用可能
共通	<ul style="list-style-type: none"> ◆清掃、消毒、換気を実施し、入口や受付に手指消毒薬を設置するなど、感染防止対策に係る基本的な衛生対策を実施する(テーブル、椅子の背もたれ、ドアノブ、電気のスイッチ、蛇口、手すり、エレベーターボタンなど) ◆受付、トイレ等は、最低1m(できるだけ2m)の間隔を空けた整列とする ◆受付等において、透明ビニールカーテン等により、職員と来館者との間を遮断し、飛沫感染を予防する ◆カラオケについては、備品の消毒や、クラスター発生事例が確認されたことにより、当面不可とする ◆利用団体代表者は、利用者(来場者)の氏名及び緊急連絡先を把握し、名簿の作成をする (利用団体代表者は必要に応じて、保健所等の公的機関へ提供され得ることを利用者へ事前に周知する) ◆利用者に発熱やせき等の風邪症状がある場合は入場をご遠慮いただくよう周知・広報する ◆施設で実施している感染拡大防止対策等(マスク等の着用、手洗い、手指消毒、差別防止の徹底等についても安心して施設を利用できるよう十分な広報を行う ◆消毒等の課題あることから、当面、一部の備品の貸出しは行わない
講堂	<ul style="list-style-type: none"> ◆コーラス、歌唱、ダンス等呼気が激しくなることが想定される利用は、条件を満たした場合に利用可能とする <p>【利用条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・咳エチケット、手洗いの励行、手指消毒の徹底 ・可能な場合は出入り口 扉の開放等、換気を実施する、(少なくとも休憩時には扉開放する) ・出演者、利用者同士の間隔は2m以上とる(舞台正面席は十分な間隔を確保する) ・利用にあたっては原則マスク着用(表現上困難な場合を除き) ・管楽器の演奏等による利用は2mの間隔をとることで可(飛沫感染に注意した利用とする) ※向かい合っでの大声での発声、歌唱は原則不可とするが、やむを得ない場合はマスクに加えフェイスシールドを着用する <p>【客席】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用可能人数は、定員の50%以内とする (最低1m以上四方を開けた席配置など来場者を分散させた席配置とする) ・大声での声援等は控える ・利用者(客席)同士の大声での会話は控えめにする
会議室 和室	<ul style="list-style-type: none"> ◆利用可能人数は、各室の定員の50%以内とする ◆机、椅子等の配置の工夫や椅子等を減らすなど、四方を開けた席配置など密集しないよう利用する ◆窓開け、換気装置稼働など換気の実施(開放が困難な場合は機械換気の実施) ◆咳エチケット(マスク・フェイスシールド等の着用)、手洗いの励行 ◆利用者同士の大声での会話は控えめにする ◆利用後の備品等の消毒を行う
ロビー	<ul style="list-style-type: none"> ◆咳エチケット(マスク・フェイスシールド等の着用)、手洗いの励行 ◆利用者同士の密集や近距離で対面することがないよう、他の利用者と最低1m、できれば2mの距離をとり、配置や座席数を減らすなどの工夫を行ったうえで、密集しないよう注意喚起を行う
飲食	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、飲食禁止とする(但し、熱中症予防の水分補給は可とする)